

町 村 合 併 特 集



発行人 木下 右治
編集人 編集部
印刷所 信州印刷KK

合併推進委員會開かる
田園都市の基本線確認
圓満な村内調整に期待

上 I 松尾		議の要旨	
では龍丘と合併したら無償で中学校敷地を提供するか	議長 土地を確保しているが、新町村で経費を出してほしと云い、竜丘でも時T	松尾 承知している。確保に努力しているから松尾地籍にできるのはやむを得ない	上 I 議長 どうして変つて来たかといえば近隣の村の影響、又村民の意見がそれに従つて来た
時T 一町三ヶ村に松尾が反対したというがその理由を	議長 村長 松尾村民が納得できないからという事であつた	時 I 一町三ヶ村で合併の研究をしているか	時 I 議長 一町三ヶ村案が駄目になつた時白紙で三ヶ村合併はどうかとの意見が出たが鼎では至難だといふ、伊賀良は賛成した。
議長 伊賀良とは境を接していないし研究もした事はない、かりに四ヶ村が合併しても不便である	竜丘では与論をむける事が期限内ではむずかしいのではないかと答えこれ	議長 伊賀良とは境を接していないし研究もした事はない、かりに四ヶ村が合併しても不便である	議長 どうして変つて来たか、現在では変つて來たのか

きだと云う説と川路と結ぶべきであるとの説に加え、大飯田に直接合併を働きかける策を改めて講ずべきであるとの三説が出た。松尾村が良しとする説は中学校問題の解決、經濟的雄村等があげられ、川路村が良しとする説は中央道開通による利益主導性の確保等があげられている。一方大飯田市合併を望む側には、終局の目的がそこに在る以上前提合併のわずらわしさを避けるべきであると云うものであり村民の意志がそれ等に要約されているものゝ如くである。当局では此の事態の收拾をどうつけるか等の質問もあつたが今後の調整の在り方をめぐつて村民の関心がむけられている。尚委員会では結論を出さないという線に従つて此の日は午後四時半に閉会された。

一町三ヶ村案が不調に終つてから村議会を始め合併方策委員会では、今後の対策について研究、協議を続けて来られたが、いよいよ最終的結論を見出すべき段階に至り新しく町村合併推進委員会を結成し、その意向を聞くべく、五月十五日午後二時より学校記念館にその委員会が開催された。当日は二百六十二名の委員中二百名程が參集しまづ当局の指命に依り木下公民館長が司会者の席につき村長挨拶、議長の経過報告があり、本村将来の住民福祉のためにはどうちらの町村と合併すべきかについて討議が交わされた。結局大飯田市合併を再確認しその目的達成のために具体的な方向として松尾村と結ぶべ

田園都市の基本線確認 圓満な村内調整に期待

現在までの経過

町村合併推進委員会の構成

中部ブロック合併研究会解 江、川路等からあつたが(31) 力する
散后(30・10・24) 関係市町、3、27 本村の方針が北へ、12、
村では数回に亘る協議会を 大きく纏まるという線だか重ねて
開いたが実現されなかつたら即答をしかねると返事を賀良
その間中学校整備の問題が した。その後龍峠村も龍丘案を
起り松尾村と懇談会を持つが加わらなければ無意味だ々同様
に至つた(31、1、8) 本村 からと解散し川路では龍丘共不
としては合併して中学整備の進む方向へつれて行つて それ
をしたいという考え方もあり ほしいとの申入れがあり、との
松尾村では中学を整備して 三穂からも同様な意志表示に呼
から合併を考えるといふ意があつた(30・4・11) 松尾
向が強く研究中のところへ 村とは中学問題をきづかけ
向來す建設の手がいはずだ 龍丘と同様

各種團體要書

御願ひ 申出であります が村を思うの至 情抑へ難く御願 ひする次第であ ります。失禮の 点は御許し下さ い 町村合併はその 後全く熟しまし た。これ以上一 ゆん巡すれば百 年の悔を残す勢 れがあります。 竜丘村の現在准 むべき道は明白 であります。即ち 先づ隣村松尾村 と手を握り由 央部における合 併の主導性を確 結論であります。 然る後に松尾村と共に 上御採擇あらんことを お願いいたします。 一刻も早からんことを 忘いたします

く確約し、松尾村提案したことになった(31・3)。そこで貢町との交渉がなされたが、鼎町では伊六村を加えた一町三ヶ村案が提案し(31・3・18)、各調する事が出来ず兩案の調に終つた(31・5・4)。以後松尾村では竜丘村単独合併を希望し強力に遊びかけて来ている(31・5・4)。

論議する要がある
う方法をとつたら自
ら確認した上で
として今後の方法を
る事に異論はない
全員 異議なし
司会 川路を連れて現
合併し大飯田市合併
来るか否か
伊原 現段階では至難
う
司会 各村とも期が短
来ているから大飯田市
併をしろという意見
し、村長は出来る
れたがその点は
村長 参考までに近姓子
子を申し上げたが内
か否かは今後の問題
申しした

時 N 一町三ヶ村が一
終つたからそのま
と単独合併が出来
見方があるが不調
た時には南方合併
ると申された点を了
解に苦しむ、川路
結んで時を待つが

竜丘村は松尾村との町内合併を決議願いたい、理由は鉄バス、国道等交通関係を中心に産業文化等今后の発展の爲是非共実現を圖らるべく、各方面自治新町村の上に中止する爲にも大きな点に附しその合併方針を示され度し、され度し、

長 勉力の足りない点を聞くことが少い、責任感が弱い、なかなかさしきる、二つに型くされたものをどう調整するかがおわびする（以下裏面）

(表面より)

議会人は民衆の意志を反映している証據であり今

後は一つにまとめてみたいか

ら皆様も御同調願いたい

桐H 大飯田市は確認して
いながら割合にそのことは問題にしていないが一
たん松尾と合併すれば時間もかかるから一度に大
飯田市を作り中学校はその後の話しで済むと思う

北沢 田園都市を考えるさい上郷か鼎が腹を決めなければどうしようもない

他の村が騒いでも駄目だ。鼎が躊躇している

○田ほど高く一戸平均五千円高くなる。飯田市と合併するにはそれよりも

有利であるだけの合併条件がなくてはならないと

いう。鼎、上郷の腰をどう切らせるかということ

が問題である。隣村が話合つて逐次大きくなつてゆくより外はないと考え

る

桐H 村には合併を研究する委員会が三つあるがそ

れ等がどういう関連をもつてやつて来たのか又、

今日の会は今度如何に運営されるのか

村長 此の会は皆様の御意見をきかせていたゞくこ

とに利用させていたゞきたい

長K 北沢氏から数字の説明があつたがはつきりしたことと村長から聞きた

村長 税の高低はたしかにあるが合併の阻害になつてはまずいので飯田市は合併後は税率を引下げると言明している

桐S 南進北進とも大飯田市合併を前提とすることを文書化して置いてほし

い

(編集部記録)

編集後記

記

五月十五日に開催された委員会の模様をお伝えすべく特集号を編集いたしました

より良い合併を望み、村造りを計畫され居られる村民の皆様の熱心な意見が当日は吐露された。望むところは同一であるが、歩む道は必ずしも同じでない所に政治のむづかしさがあり、苦しみがあることゝ思うが早急にその道が決定されなくてはならない

当局の最善の努力による結論が速やかに出されること

が望ましい。誠意のある所

必ずしも村民が了とするに

やぶさかではないはず